

曹洞宗 天祐山 公田院 仁叟寺

## 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

じしへんさんしつつうしん

## 寺誌編纂室通信-14- 佛像調査報告

下子修復の様



平成17年

## 仁叟寺年間行事予定

1/1	年頭祈祷
1/3~1/4	年始挨拶
2/3	大節分会
2/15	涅槃会
3/13	大般若会/大施食会法要
3月中旬	筆供養法要
3/18~3/24	春季彼岸会
4/8	花祭り
7/13~7/16	京浜地区盂蘭盆会

7月下旬 子ども禅の集い

8/13~8/16	盂蘭盆会
9/20~9/26	秋季彼岸会
12/8	成道会
12/31	除夜会

毎週土・日曜日

書道教室

毎週水曜日

定期坐禅会

隔週水曜日

華道教室・梅花講稽古

7月から8月に掛けて、佛教造形研究所の本間紀男所長、岩崎靖彦先生、藤田尚樹先生、県内仏像の権威である県文書館岡部央先生、田邊雅明先生ほか町教育委員会、長谷川寛見先生ら寺誌編纂委員の皆様の監修のもと、仁叟寺の仏像の大規模な調査が



## ↑ 仏像調査（本堂）

行われました。当寺の仏像約450体を一體一體丁寧に調査。また山門の五百羅漢、十六

にょうそう

ほこり

羅漢、仁王像一対も経年の埃を払い、調査を行いました。

東京藝術大学大学院の研究所が発祥の佛教造形研究所では、世界遺産の日光東照

とうしょうだいじ

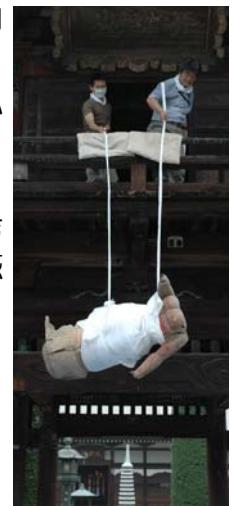
宮や奈良の唐招提寺などの仏像の修復を手掛けた修復に関しては日本を代表する組織であります。

調査では本尊様が史実通り室町期の作で江戸初期に補修を加えてあること、開山堂の開山像及び二世像も同様に室町期の作であるというお墨付きを頂きました。また、秘仏であった靈場の千手觀音像は半島もしくは大陸から渡ってきた可能性が高く、山門の仁王像一対は鎌倉期の作であるとのことでした。初めて分かることが多くまた仁叟寺に遺されていた仏様は大変由緒歴史があることを痛感いたしました。

今回の調査は気温35度以上の猛暑の中、延べ8日間行われました。結果は寺誌に反映をさせていこうと考えております。関係者各位おかれましては、改めて感謝申し上げます。

## 山門屋根瓦補修工事報告

上記調査と併せまして、上原建築さんと神田屋根工事さんにより、山門屋根瓦補修工事を行いました。一時期、山門がハトの巣になっており工事は手間がかかりましたが、無事終了しました。



だいほんざんそうじじ

だいゆうざんさいじょうじ

## 大本山總持寺・大雄山最乘寺参拝旅行参加者募集



↑ 本格的精進料理

前号でもお伝えしました通り、来る10月29日（土）に大本山總持寺及び大雄山最乘寺参拝旅行を行う予定です。日帰りで両寺院を拝観し、昼食は大本山總持寺の本格的精進料理を召し上がっていただきます。また大雄山最乘寺はちょうど紅葉が見頃な時期でもあります。

参加費は保険料参拝料昼食代バス代金など込みで、お一人様9,500円となっております。9月末まで参加を受け付けており増す。檀信徒でなくても結構です。この機会に是非、ご縁のある皆様方のご参加をお待ち申し上げます。



かくしゅざぜんかいほうこく

## 各種坐禅会報告

今年も毎年恒例の子ども禅の集いが7月25日～26日にかけて開催されました。今年で24回目の同坐禅会は、小学2年生～6年生が31名参加し、1泊2日の修行生活を体験いたしました。

また、8月8日～10日には東洋大学文学部印度哲学科渡辺ゼミの合宿が行われました。朝のお勤めと坐禅、作務という清掃作業を行いました、欣光閣においては活発なゼミの研究発表が行われました。

ほか当寺では、サンコーグループや仏教経営フォーラムといった各企業団体学校など数多くの坐禅会が行われております。坐禅会は個人では毎週水曜日の定例坐禅会、団体は随時行っています。希望者は当寺までお問い合わせ下さい。

↑ 子供坐禅会と東洋大ゼミ合宿参加者



やくしによらいせきぶつ

↑ 約800年の歴史をもつ薬師如来石佛

## 仁叟寺探索-12-

今回の仁叟寺探索では、『薬師如来石佛』を紹介いたします。

この石佛は、今から約800年ほど前の鎌倉時代の作と伝えられ  
仁叟寺に遺されている石佛でも大変古い時代のものです。

平成元年2月8日に、吉井町の重要文化財に指定され、現在は薬師堂に安置しております。薬師堂には他にも、歴代住職護持佛の黒薬師像やその脇侍佛である日光月光菩薩立像、堂宇建立にあたって淨財を頂いた方がご寄進された数多くの薬師如来座像など  
が祀られています。当寺にお立ち寄りの際にはご

参拝下さい。

## 故寺本欣正サンコー会長三回忌法要



↑故寺本サンコー会長三回忌風景

去る9月9日（金）、当寺の最高顧問檀家であり  
さいちゅうこうかいき  
再中興開基の故寺本欣正翁（戒名、龍昇院殿欣光正悦大  
そうごん  
居士位）の三回忌の法要が、仁叟寺本堂に於いて莊嚴に  
と  
執り行われました。小寺弘之群馬県知事はじめ中曾根弘  
文、山根隆治両参議院議員、松浦高崎市長、齋藤吉井町  
じゅうちん  
長など政財界の重鎮はじめ約200名を超える多くの方々  
が焼香に訪れました。改めてサンコー会長、故寺本欣正  
翁の生前の徳の大きさが偲ばれた法要でした。尚、会長  
亡き後は施主である寺本欣一社長がサンコーグループの  
しの  
跡を継ぎ堅実な経営をしております。

とくはふきょうしほうわかい

## 特派布教師法話会にご来寺下さい！

来る10月7日（金）午後1時30分より、仁叟寺本堂に於きまして、曹洞宗特派布教師の講演会を行います。特派布教師とは曹洞宗を代表する布教師であります。この時期に各寺院を廻り法話をし布教を行ってくださいます。

担当の寺院は各地域より一ヶ所であり、本年は仁叟寺が会場となりました。この機会に是非、宗門を代表するご老師のご法話を聞き、日々の生活の糧にしていただければと思っております。

この度の布教師は福島県の清光寺ご住職本田大聖老師が、遠路より来て頂く予定になっております。

また、当寺総代世話人を務められている方々はじめ大勢の檀信徒のご来寺をいただきたく、万障お繰り上げてのご参加を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。



## ロン（迷い犬）を探しています

当寺の人気者、ロン君が8月初旬にあった大雷の際、逃げてしまい以来行方不明です。見かけられた方は是非とも下記ご連絡先までご一報下さい。宜しくご協力の程、お願い申し上げます。



名前	ロン
性別	メス（♀）
年齢	13歳
種別	雑種
特徴	①茶色の毛 ②赤い首輪（電話番号の記載あり） ③人懐こい大人しい性格 ④雷や花火が苦手



とくべつきこう

## 【特別寄稿】 中国五台山参拝旅行に参加して

宮澤 二三夫



←山西省太原市  
崇善寺にて、根通法師と共に

聖地五台山顕通寺友好寺院締結十周年記念参拝ツアーに参加出来て信徒として幸せでした。

6月21日（火）、仁叟寺友好寺院の五台山顕通寺表敬訪問。監長さま出張中に副監長さま出迎え面談。私達より各自土産贈呈。お返し頂き、寺内を案内され手厚く見送って頂きました。

6月22日（水）、太原市にある崇善寺表敬訪問。中国最高の阿闍梨高僧根通さまの出迎えを受け、手厚い持て成し後見送って頂きました。徳行にすぐれた高僧の温情に接し沢山の心の栄養を賜った事は、今回のツアーで人生最高の収穫でした。

敗戦で国破れて山河在り、良く立ち直ったもので富は尊敬を作る豊かな国日本人は幸福あります。井の中の蛙大海を知らず、私達日本人の生活水準の高さは隣国中国でみると、北京のような大都市は別ですが、一步地方へ行くとはっきりと感じました。家は昔のままでインフラ整備は出来ていないし家電製品が少し入った程度で特にトイレの3K、汚い、臭い、危険で入るには勇気が必要あります。それに引き換え我国はあの敗戦から立ち直って経済大国となりました。しみじみとありがとうございます。

尚、旅行中同行者の皆様には和気藹々、おじいちゃんおじいちゃんと優しく親切に接して頂きました。また、手荷物を持ち時には手を引き親切優しさに触れ感謝しております。



→万里の長城にて

### 五台山参拝旅行参加者ご芳名（順不同、敬称略）

渡辺 啓司	渡辺恵津子	新津 行信	宮澤二三夫
堀越 兼一	川上 紗子	長谷川寛見	長谷川静枝
出牛 裕一	出牛八重子	出牛 清美	宮 道子
加部 昭輿	中曾根 孝	櫻井 信彦	上原 久男
高見澤篤志			

## 行雲流水（編集 後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

暑かった夏も過ぎ、虫の声が秋を実感させてくれる今日この頃であります。

さて、今回の寺報『山雲水月』秋号で取り上げました五台山参拝旅行の旅行記を書かれた宮澤二三夫さんは、当寺東堂と同じ年の82歳。仁叟寺の総代職も務められ、趣味の園芸を嗜む矍鑠とした方であります。原稿どうもありがとうございました。

今秋は10月7日に予定している特派布教師法話会、同じく10月29日に予定している大本山總持寺大雄山最乗寺参拝旅行など当寺主催の行事が数多くあります。興味がある方、ご都合が付く方は是非ご参加の程、お願い申し上げます。



↑竹林に紅葉